

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2015年4週の県全体の定点当たり患者報告数は、3週の34.35から増加し37.93となった。引き続き報告数が多い状況が続いており、今後の流行状況に注意が必要である。

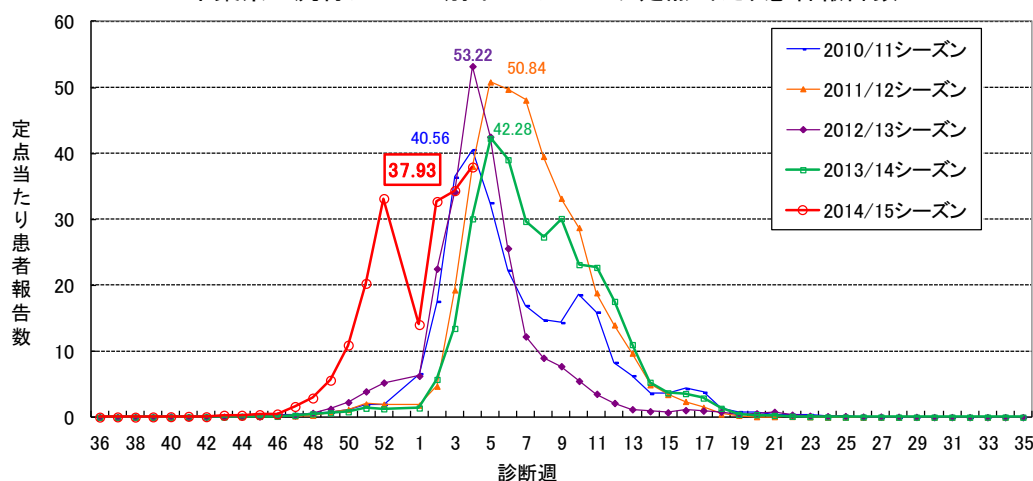
千葉県健康福祉部疾病対策課 インフルエンザについて
 URL: <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/index.html>

保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中12保健所管内で警報レベルの30を超えた。30を超えた保健所は、海匝(59.57)、船橋市(46.82)、印旛(46.04)、君津(44.62)、山武(43.44)、松戸(41.24)、習志野(40.94)、市原(40.09)、夷隅(37.00)、長生(36.71)、千葉市(31.71)、香取(31.33)だった。

2015年4週の年齢群別報告割合は、5～9歳33.1%、10～14歳19.3%、0～4歳17.5%が多く、2014/15シーズン全体では、5～9歳27.3%、10～14歳19.6%、0～4歳15.0%となった。

2015年4週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、7,598例中A型7412例(97.6%)、B型129例(1.7%)、A and B型3例(0.0%)、A or B型54例(0.7%)だった。2014/15シーズン合計では、38,088例中A型37,184例(97.6%)、B型580例(1.5%)、A and B型10例(0.0%)、A or B型314例(0.8%)だった。

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり患者報告数



インフルエンザ

